

事務事業調査 平成23年度	No 233	課名 障害福祉課	起案者 酒井進
事業種別 市民サービス		係名 障害給付係	決裁者 鈴木公伸
事務事業名 障害者ショートステイ事業		区分 継続	業務一覧No 7.9
			他係名
			他係業務一覧No

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり		予算科目(会計)	一般会計
	2 社会福祉		予算科目(款・項・目)	15-5-10
	5 障害福祉		総合計画以外の計画	障害者福祉計画・障害福祉計画
	2 在宅福祉		関連する総合計画の施策	
性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの(義務的)		法定受託事務	無
根拠法令	有 障害者自立支援法			
実施方法	一部委託	委託先	行政関連団体,(社会福祉法人)	
実施期間	開始 平成15年度	経過 8年目	終了	期間
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	ショートステイを希望する障害者(児)が	~になる	ショートステイを利用できるようになる
事務事業の内容	【ショートステイ事業】自宅で介護する人が病気の場合などに短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行うサービスです。 【日中一時支援事業】障害者の家族の就労支援及び障害者を日常的に介護している家族の一時的な休息を図ることを目的として、障害者の日中における活動の場を確保します。			
事務事業進捗状況	支給決定者数 平成21年度末 【ショートステイ】身体障害者：37人、知的障害者：172人、障害児：100人、精神障害者：6人 【日中一時支援】身体障害者：20人、知的障害者：131人、障害児：147人平成21年度末 平成22年度末 【ショートステイ】身体障害者：44人、知的障害者：184人、障害児：115人、精神障害者：10人 【日中一時支援】身体障害者：29人、知的障害者：158人、障害児：170人			
改善・対策の履歴	事業所マップを活用し、事業所情報の提供に努めました。 ショートステイ、日中一時支援ともに、緊急時だけでなく、夏休みなど障害者が長期休みに入る時は、期間を限定して支給量を増加し、障害者の日中における居場所の確保や、保護者の休息時間の確保ができました。			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	
総事業費 f=a+d+e	37,083	41,488	42,609	49,884	71,552	73,496	78,252	
財源計 a	34,071	38,476	39,597	46,872	68,540	70,484	75,240	
財源の内訳	国庫支出金	4,915	15,282	13,603	23,166	24,905	34,972	27,334
	県支出金	2,456	8,194	7,576	11,583	12,452	17,486	13,667
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	26,700	15,000	18,418	12,123	31,183	18,026	34,239
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0	
職員人件費 d	3,012	3,012	3,012	3,012	3,012	3,012	3,012	
内訳 従事職員数	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0	

4 求める成果を得るための活動

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
活動	活動①	活動名(活動内容)	ショートステイサービス給付	見込(単位)	310.00	325.00	330.00	400.00
		指標名(単位)	支給決定人数(人)	実績b(単位)	295.00	315.00	353.00	
				活動の総事業費f 実績	11,938	11,514	19,708	
				単位コストg=f÷b 実績	40.47	36.55	55.83	
	活動②	活動名(活動内容)	日中一時支援サービス給付	見込(単位)	195.00	250.00	355.00	430.00
		指標名(単位)	支給決定人数(人)	実績b(単位)	248.00	298.00	357.00	
				活動の総事業費f 実績	27,754	38,370	53,788	
				単位コストg=f÷b 実績	111.91	128.76	150.67	
	活動③	活動名(活動内容)		見込(単位)				
		指標名(単位)		実績b(単位)				
				活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5(1) 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	ショートステイ利用日数(日)	見込(単位)	1,344.00	1,764.00	1,812.00	1,860.00
			実績(単位)	1,496.00	2,035.00	2,179.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	日中一時支援利用日数(日)	見込(単位)	3,414.00	6,498.00	6,562.00	6,627.00
			実績(単位)	7,476.00	8,726.00	10,681.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	①ショートステイの利用により、緊急時の居場所の確保や家族の休息時間の確保ができました。 ②日中一時支援の利用により、障害者本人の昼間の居場所や家族の休息時間の確保ができました。 短期入所及び日中一時支援に係る支給日数を増やして欲しいという要望があり、夏休みなどの期間は一時的に支給決定日数を増やすことができるようになりました。

6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	①ショートステイは介護者の病気や緊急時など、宿泊を要する場合に対応するサービスとして利用しやすいため、支給決定人数が増えました。 ②日中一時支援はH18年10月からスタートした新サービスであるが、窓口や調査面接時に利用者へのPRにより日中一時支援の定着化が図られ、事業所数が多いことや事業所が身近にあることから、支給決定者が大幅に増加しました。
	成果1,2	①ショートステイは、介護者が病気になったときなど、緊急時には一時的に利用日数を増やすことを認めたことなどから、介護者にとって利用しやすくなり、利用日数が増えました。 ②窓口や調査面接時に利用者へのPRにより日中一時支援が定着し、ショートステイに比べて事業所数が多いことや事業所が身近であるなど利用がしやすいことから、利用者が増えました。また、夏休み期間中は期間限定で支給決定日数を増加できるようにしたことから、利用者にとって利用しやすいサービスとなりました。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
	障害者手帳取得者に対して市内事業所マップを活用して利用者への事業所情報の提供に努めます。 期間限定で支給決定量を増加する場合は、利用者に対してお知らせをします。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	障害者自立支援法に基づく事業を継続します。